

Date

県内経済 〈9月〉

概況

県内経済は、全体として回復の動きが足踏みしている

電子部品、木材の生産は前年を上回ったものの、機械金属は低迷が続いている。建設は、住宅着工が前年を上回ったが、公共工事は前年を下回った。個人消費は全体として回復の兆しがみられる。雇用情勢は弱い動きとなっている。

産業別の動向では、電子部品の生産額は、民生機器や産業機器向けが好調に推移し、4か月連続で前年を上回った。機械金属の生産額は、ウエイトの高い輸送機械で国内向けが大きく落ち込み、19か月連続で前年を下回った。木材の生産量は、普通合板(8月)が9か月連続で前年を上回り、製材品も前年を大幅に上回った。公共工事請負額は、2か月連続で前年を下回ったが、年度累計では前年を上回った。地元大手(12社)の建設受注額は、官公庁工事で大口受注があり、3か月ぶりに前年を上回った。住宅

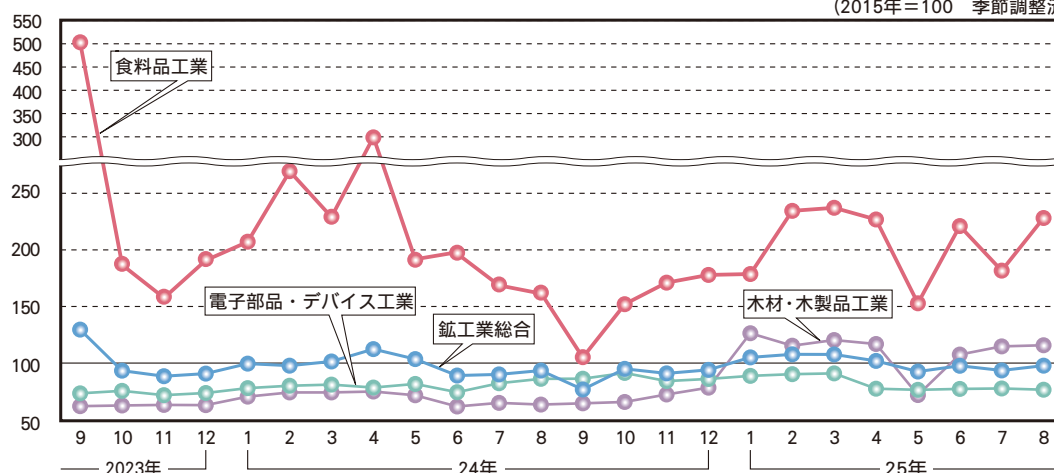
着工は4か月ぶりに前年を上回った。個人消費は、新車乗用車販売台数が5か月連続で前年を下回ったが、小売店販売額(8月)は6か月連続で前年を上回るなど、全体として回復の兆しがみられる。

有効求人倍率は前月比0.01ポイント低下の1.21倍となった。新規求人数は前年比2.4%増と3か月ぶりに前年を上回った。事業主都合離職者数は前年比18.8%増と2か月連続で前年を上回った。

企業倒産件数は6件、負債総額は4億6,200万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移

(2015年=100 季節調整済)



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」



電子部品

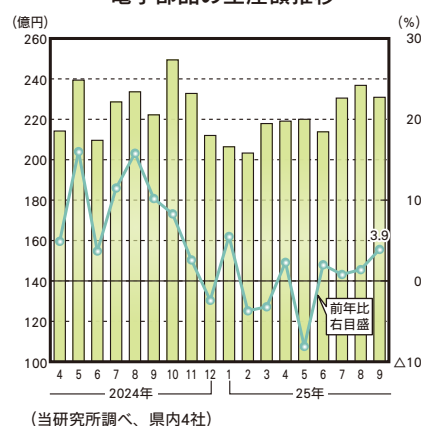
生産額、4か月連続で前年比増加

9月の生産額は前年比3.9%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

車載向けは電気自動車（EV）市場の低迷により伸び悩んでいるものの、民生機器向けや産業機器向けが好調なことから、総体では堅調に推移している。

その他品目別では、増勢が続いていた液晶パネルはわずかに減少したものの高水準を維持しており、半導体素子も増加傾向にある。低迷していた主力のセラミックコンデンサやコイルは回復傾向にある。なお、7－9月期は前年同期比2.0%増加、2025年度上半期は同0.3%増加した。

電子部品の生産額推移



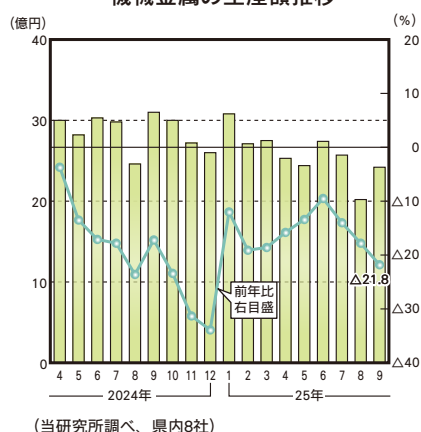
機械金属

生産額、低迷続く

9月の生産額は前年比21.8%減となり、19か月連続で前年実績を下回った。

ウエイトの高い輸送機械は、海外向けは持ち直してきたものの、国内向けは一部メーカーの生産終了車両の影響が大きく減少しており、総体では低迷が続いている。その他民需関連では、増勢が続いていた産業機械は減少傾向となっているほか、金型、建機部品も大幅減となっている。公共工事関連では、橋梁・鉄骨は堅調に推移しており、減少が続いていた水道部品は底打ち感がみられる。なお、7－9月期は前年同期比18.0%減少、2025年度上半期は同15.4%減少した。

機械金属の生産額推移



木材業

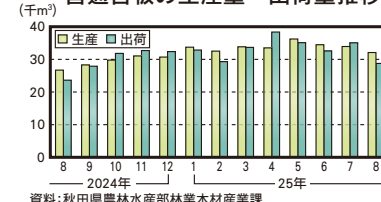
普通合板が9か月連続で前年比増加

新設住宅着工の低迷による需要不足から、全国的には木材・木製品の生産・出荷量の伸び悩みが続いているが、本県では県内大手の増産と県北の大型製材工場稼働により、製材の供給増加が続いている。

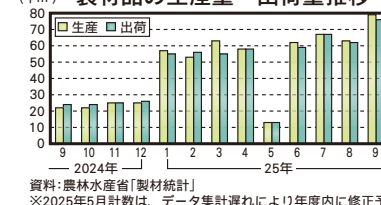
8月の普通合板は、流通段階での在庫調整が進んだことなどにより、生産量は前年比20.2%増、出荷量も同21.7%増といずれも9か月連続で前年を上回った。

9月の製材品は、県北での大手製材工場稼働の影響等から、生産量が前年比259.1%増、出荷量が同216.7%増と、ともに前年を大幅に上回った。

普通合板の生産量・出荷量推移



製材品の生産量・出荷量推移

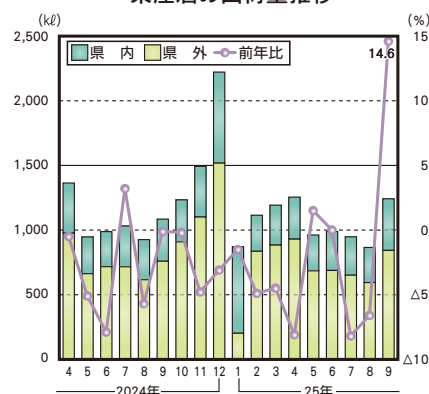


酒造業

出荷量、値上げ前の駆け込み需要により前年比大幅増

9月の清酒出荷量は、前年比14.6%増となった。一部メーカーで10月の商品価格引上げを前に駆け込み需要が生じたため、3か月ぶりに前年を上回った。出荷先別では、県内向けは同22.5%増、県外向けも同11.2%増となり、ともに前年比二桁の増加率となった。県外の主な出荷先別では、東京は同52.8%増、北海道は同32.1%増と大幅に増加したほか、東北5県も同8.0%増と増加した。種類別では、普通酒は同12.2%増、特定名称酒は同16.9%増となった。特定名称酒の内訳では、純米酒が同21.6%増、吟醸酒は同14.3%増、本醸造酒も同14.7%増と、いずれも大幅増となった。

県産酒の出荷量推移



資料：秋田県酒造組合

建設業

公共工事 国、市町村が減少し前年を下回る

9月の公共工事請負金額は、国、市町村が減少し、総体では前年比4.0%減と2か月連続で前年を下回った。4月からの年度累計実績は前年同期比7.2%増となった。

一方、当研究所調査による地元大手12社の9月の新規受注額は、前年比358.9%増の12,083百万円となり3か月ぶりに前年を上回った。うち官公庁工事は、新県立体育館整備等の大口工事があり同590.5%増と前年を大幅に上回った。民間工事は、大口工事がなく、同73.7%減と前年を下回った。4月からの年度累計実績は、前年同期比57.1%増となった。

公共工事前払金保証実績

(単位：件、百万円、％)

区分	9月	前年比	4～9月	前年同期比
件数	286	△1.4	1,614	△3.3
請負金額	13,143	△4.0	138,041	7.2

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位：百万円、％)

区分	9月	前年比	4～9月	前年同期比
官公庁	11,842	590.5	21,186	89.6
民間	241	△73.7	3,029	△28.7
合計	12,083	358.9	24,215	57.1

(当研究所調べ、県内12社)

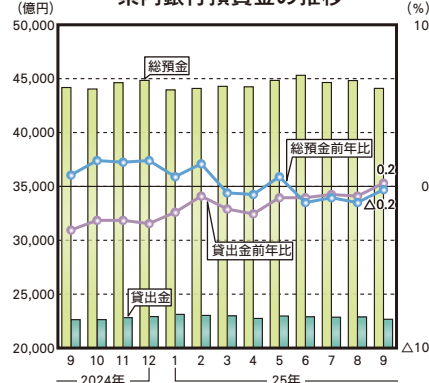
金融

貸出金、26か月ぶりに前年比増加

9月末の県内銀行の預金は、前月末比725億円減少し、前年比でも0.2%の減少となった。貸出金は、前月末比212億円減少したものの、前年比では0.2%の増加となった。預金は4か月連続で前年を下回ったものの、貸出金は26か月ぶりに前年を上回った。

9月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は6件(前年比4件増)、負債総額は4億6,200万円(同35.1%増)となった。倒産件数は、9月としては過去10年で最多となり、不況型倒産が相次いだ。負債総額は、負債額1億円以上の倒産が3件発生したため、前年同月を上回った。

県内銀行預貸金の推移



資料：秋田県銀行協会



住宅着工

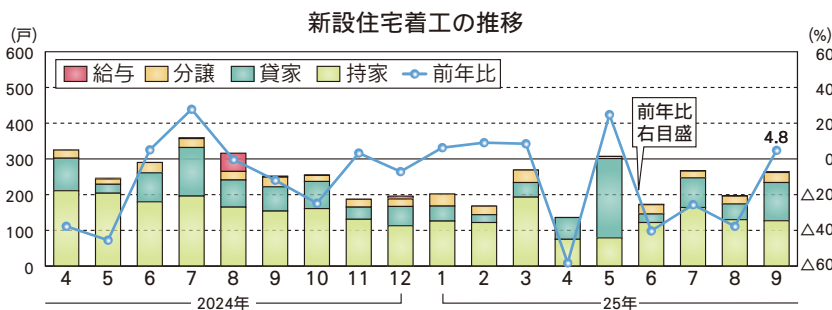
着工戸数、4か月ぶりに前年比増加

9月の県内新設住宅着工戸数は、264戸（前年比12戸増、4.8%増）であった。持家と給与住宅は減少したものの、貸家が大幅に増加したほか、分譲住宅も増加し、4か月ぶりに前年を上回った。

利用関係別では、持家が127戸（前年比27戸減）、貸家が107戸（同39戸増）、分譲住宅が28戸（同1戸増）、給与住宅が2戸（同1戸減）となった。

持家は、4月の建築物省エネ法改正に伴う駆け込み需要からの反動により、6か月連続で前年を下回った。貸家は、秋田市、由利地域で大幅に増加したほか、仙北地域でも増加し、4か月ぶりに前年を上回った。分譲住宅は6か月ぶりに前年を上回った。

地域別では、県北は持家と貸家が減少し、前年を下回った。県央は貸家、県南は貸家と分譲住宅が増加し、前年を上回った。



住宅着工動向 (単位：戸、%)

区分	2025年9月	前年比	25年1~9月	前年比
県北	40	△27.3	304	△38.2
県央	181	11.7	1,274	△7.1
県南	43	22.9	405	△21.7
合計	264	4.8	1,983	△16.7

資料：秋田県建築住宅課

個人消費

全体として回復の兆しがみられる

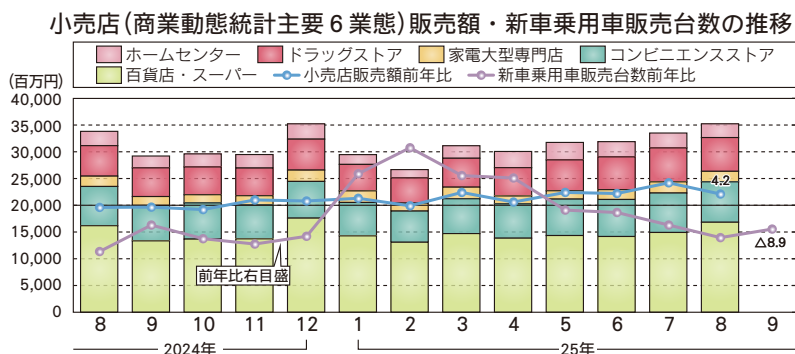
8月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、前年比4.2%増となり、6か月連続で前年を上回った。

内訳をみると、ホームセンター（前年比3.8%減）は前年を下回ったものの、ドラッグストア（同10.8%増）、百貨店・スーパー（同4.0%増）、コンビニエンスストア（同3.0%増）、家電大型専門店（同1.8%増）は

前年を上回った。

9月の新車乗用車販売台数は、新型モデル車等の市場投入が少なかったことなどから、前年比8.9%減と5か月連続で前年を下回った。

内訳をみると、登録車が同12.3%減と5か月連続で前年を下回ったほか、軽乗用車も同4.9%減と4か月連続で前年を下回った。



9月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	2,885	△8.9
登録車	1,504	12.3
普通車	864	△5.6
小型車	583	△21.6
輸入車	57	3.6
軽乗用車	1,381	△4.9

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標（前年比）(単位：%)

区分	2025年6月	7月	8月
①消費者物価指数	2.4	1.8	1.5
②勤労者名目賃金	△2.5	7.9	2.8

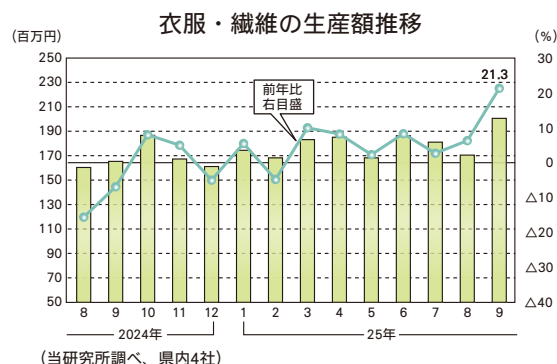
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）
②秋田県（事業所規模5人以上）

衣服・繊維

生産額、7か月連続で前年比増加

9月の生産額は、一部の事業者で婦人服ラインに大口ロットが入り、生産効率が向上したことなどから、前年比21.3%増と7か月連続で前年を上回った。

受注は、4か月連続で前年を上回ったが、多品種少量のロットが増加しており、採算は悪化している。最低賃金引き上げも控え、メーカーとの工賃引き上げ交渉が急務となっている。



雇用

弱い動き

9月の有効求人倍率(季調値)は、前月比0.01ポイント低下の1.21倍となった。常用の内訳では、一般は前月と同水準の1.42倍、パートは同0.05ポイント上昇の0.86倍となった。

新規求人数は前年比2.4%増となり、3か月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、製造業は同9.7%増となった。「電気機械器具」「食料品」で減少したものの、「繊維」「電子部品・デバイス・電子回路」で受注増にともない増加した。非製造業は同1.5%増となった。「生活関連サービス、娯楽」「サービス」などで減少したものの、「運

輸、郵便」のうち旅客運送業および貨物運送業で人手不足により増加したほか、「宿泊、飲食サービス」でも利用客の増加にともない増加した。

新規求職者数は前年比0.9%増となり、2か月連続で前年を上回った。

事業主都合離職者数は前年比18.8%増となり、2か月連続で前年を上回った。

地域別雇用状況(パートを含む常用)をみると、新規求人数は県北、県央、県南でいずれも増加した。有効求人倍率は県北が最も高く1.37倍、県央が1.19倍、県南が1.08倍となった。

業種別・新規求人内訳および新規求職者数(全数)

(単位:人、%)

区 分		2025年8月	前年比	9月	前年比
新	規 求 人 計	6,546	△5.4	7,036	2.4
主 要 業 種 の 内 訳	製 造 業	714	△9.8	848	9.7
	食 料 品	128	21.9	144	△19.6
	織 維	97	△21.8	128	7.6
	木 材・木 製 品	22	△21.4	42	0.0
	金 属 製 品	65	14.0	74	2.8
	電子部品・デバイス・電子回路	96	△9.4	142	82.1
	電 気 機 械 器 具	38	△5.0	22	△24.1
	非 製 造 業	5,832	△4.8	6,188	1.5
	建 設	853	△2.5	1,142	0.6
	運 輸 , 郵 便	351	15.1	326	14.4
有 効 求 職 者 数	卸 売 , 小 売	809	△12.2	915	△1.0
	宿 泊 , 飲 食 サービス	608	21.1	511	7.1
	生活関連サービス、娯楽	204	△1.4	175	△5.4
	教育 , 学 習 支 援	60	△63.9	105	14.1
	医 療 , 福 祉	1,376	△3.2	1,394	△0.3
	サ ー ビ ス	962	△1.9	955	△2.7
	新 規 求 職 者 数	3,018	0.6	3,225	0.9
	有 効 求 職 者 数	15,104	0.7	15,078	1.3

資料:秋田労働局職業安定課
(注)臨時・季節を含む

有効求人倍率および事業主都合離職者数

(単位:倍、人、%)

区 分		2025年6月	7月	8月	9月
有 効 求 人 倍 率	常 一 般	1.37	1.38	1.42	1.42
	パートタイム	0.69	0.76	0.81	0.86
	全 数 (季調値)	1.20	1.21	1.22	1.21
事業主都合離職者数		119	171	262	152
前 年 比		△33.1	△24.0	37.2	18.8

9月の地域別雇用状況(パートを含む常用)

(単位:人、%、倍、ポイント)

区 分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比		前月比	
県 北	1,620	1.9	1.37	△0.01
県 央	3,256	3.5	1.19	0.02
県 南	1,516	3.8	1.08	0.04
合 計	6,392	3.1	1.20	0.02

(注)臨時・季節を除く